



熱可塑性スプリントシートを用いたスプリント作製の実態調査

キーワード

スプリント, 熱可塑性スプリントシート, ハンドセラピスト, 調査, 診療報酬

研究内容

熱可塑性スプリントシートを用いたスプリント作製の実態について全国規模で調査しました。作製したスプリントの対象診断名、作製目的、作製時期、関与する関節、作製時間、材料の大きさ度を調査した結果、スプリントが日常臨床で術後あるいは受傷すぐに使用され、治療経過中も目的に応じて、多様なスプリントが作成されていることが明らかとなりました。しかもその難易度は中堅ハンドセラピストにおいて比較的短時間で作製できるものであることがわかりました。スプリントの有効性、安全性、倫理性について明らかにするための活動を継続し、専門的な医療技術としてのスプリントの役割を明確にするために取り組んでいます。



前腕スプリント（カックアップスプリント）



短対立スプリント

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・「熱可塑性スプリントシートを用いたスプリント作製の実態調査（報告）」日本ハンドセラピィ学会誌 (JJHTS), 13(1), p.43-48, 2021.
- ・「熱可塑性スプリントシートを用いたスプリント作製の実態調査」第 33 回日本ハンドセラピィ学会学術集会アフタヌーンセミナー, 2021.

社会連携・産学連携の可能性

今後の調査項目の追加、調査対象の拡大などスプリント作成に関する診療報酬新設に向けての対策を検討する基礎資料となります。